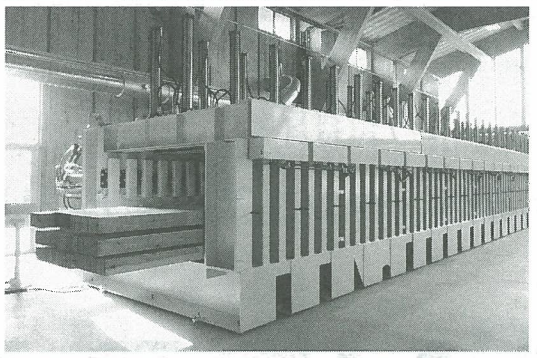
多様なCLT生産で新需要に対応

中東

大断面集成材やCLTを製造する中東（石川県能美市、小坂勇治社長）は、昨年6月に国産ヒバとカラ松CLTのJAS認定を取得している。

ヒバは、白アリに強い性質から白アリ被害が懸念される1階部分などに使用できる。一方のカラ松は強度が必要な部位での活用が期待される。

同社の生産過程では接着にレゾルシノール系接着剤を使用しているため、外構フェンスなど外部でも使用できる。2016年に取得済みの杉CLTと合わせ、内部・外部両方での提案を多様化し、木製フェンスなどの需要にも供給していく。同時に、事務所建築などを検討する民間企業に対しても、CLT採用を訴求する。


大型プレス機は同社の新しい生産の柱

設備投資では、地元機械メーカーに発注した完全オーダーメードの大型プレス機を昨夏に導入した。

長さ21㍍、断面は1250×2100㍉の大断面部材を生産できる仕様になっており、曲がりの緩いアーチ形状の部材にも対応できる。

同社の大断面集成材及びCLTは国内外で引き合いがあり、特にアジア圏の物件で採用事例を増やしている。

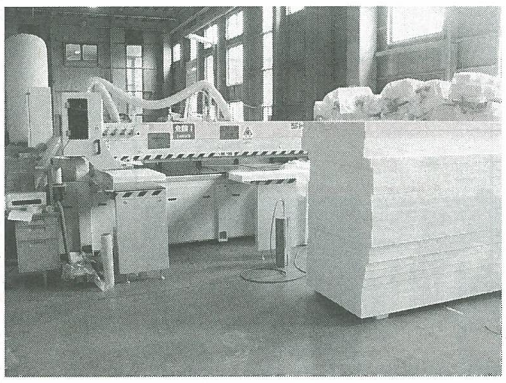
今回のCLTのJAS認定と設備投資は、既存の需要に加え、北陸や全国の非住宅需要に対応できる体制整備でもある。石川県では、地場産材である能登ヒバの活用も注目されており、同社の生産・加工技術が能登ヒバの新需要開拓につながる可能性もある。

床断熱プレカット対応で地場支援

アプト・シンコー

ロシア材製材やプレカット事業を手掛けるアプト・シンコー（富山県高岡市、石灰靖和社長）では、プレカット分野における地場需要の対応力強化が進められてきた。

同社は富山県内企業からの受注比率が非常に高く、地場工務店からの信頼を獲得している。また、工務店のニーズ把握力にも長けている。人手不足や現場施工の省力化が課題となる工務店への一助として同社が取り組んでいるのが、床断熱プレカットの自社対応だ。


顧客ニーズに応えた断熱材プレカット

床断熱プレカットは、構造躯体のプレカットとともに工務店が求める加工であるため、同社の加工力は工務店の負担軽減に大いに貢献する。

また物流面でも地場工務店のサポートに乗り出しており、配送用トラックの自社便比率を高め、迅速できめ細かな配送体制を確立している。

人員が限られる地場工務店にとっては、加工と配送の両面でサポートが得られることで、営業に力を入れることも可能となる。

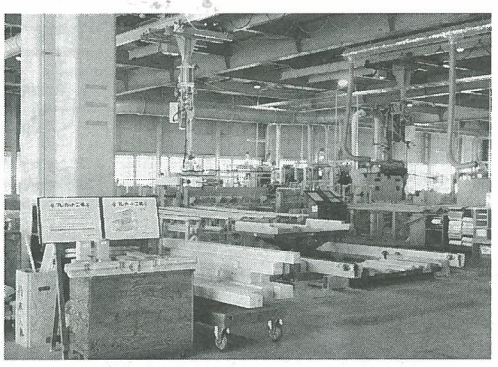
地震に強い家づくりの加工拠点

ウッドリンク

ウッドリンク（富山県射水市、原野剛行社長）は地域住宅需要に対し、同社オリジナルの高品質軸組パネル「プレウォール」と、微動探査を含む地盤調査やウォールスタットによる倒壊解析シミュレーションをパッケージ化した「三位一体工法」の提案により地震に強い家づくりを進めている。

年間6万坪水準で安定的に受注するプレカット工場では、プレウォールの採用比率が年々高まっており、既に50％を超えている。地域住宅市場におけるパネルの浸透は順調で、今後は非住宅物件にも採用を促していく。

プレカット工場は能力向上と生産効率化が推進されている。多種加工機MPS-55の導入などにより、加工能力だけでなく省力化・省人化の面でも最新型工場となった。設備投資や工場の生産性改善が一巡したことから、次なるステージとして工場能力をフルに発揮するために受注拡大を図る。


加工体制が整ったプレカット工場

「ウッドリンク・ラボ」が備わることは同社の強み。耐震性や断熱性など住宅に関する情報を包括的に訴求できる施設で、BtoBの訴求からBtoCの訴求まであらゆる用途に対応できる。地域住宅市場の活性化に向け、同社は一般消費者との接点として施設の活用を強化する。地域工務店と消費者を結び付ける場ともなるため、地場需要創出の拠点として存在感が一層高まりそうだ。

上質なロシア製材品を地方展開

石甚

石甚（富山県射水市、石灰功一社長）は、富山県の木材産業の後はさらに対応力を高め、九州・北海道以外の地域に向け広域的に供給していく。

同社が、ロシア材製品市場でニーズの高い上質な製品をタイムリーに供給することで、地方流通業者は安定販売につなげることが可能になる。

同社は、原板から製材したアカ松タルキを中心に、ホームセンターを含め全国200以上の企業と取り引きがあり、全国的な流通ネットワークを形成している。

製材工場として利用していた建屋を原板保管用倉庫に転用することで、原料となる原板は安定在庫を維持できており、生産体制は製品ベースで月間約2500立方㍍。市場シェアの高い30×40㍉サイズのほか、35㍉角や、15×45㍉、16×40㍉などの多彩な生産サイズで地域重要に応じられることも強みの一つとなっている。同社が生産力を土台に広域展開することで、富山発の製品流通の活性化が期待される。

受注システムのIoT化で存在感

フルタニランバー

海外産地からの直輸入で内装系資材を中心に多彩な品目を取り扱うフルタニランバー（石川県金沢市、古谷隆明社長）は、受注管理アプリの開発で業務のIoT化を図っている。豊富な在庫量とIoT技術による業務効率のレベルアップを武器に受注エリアを全国に広げ、存在感を強めていく。

開発しているアプリは受注情報が倉庫内のフォークリフトオペレーターが持つタブレット端末にも届く仕組みで、資材のピックアップ効率の向上につながる。

営業担当からの書面による引き継ぎといった従来の社内手順を大幅に短縮できるため対応スピードが格段に上がり、顧客満足度が高まる。アプリに加えて、在庫管理でも無線通信による情報認識システムRFIDを採用し、在庫位置や在庫状況が即座に把握できる体制を整えている。

同社の取扱品は自社品や顧客からの預かり品で4800以上に上るため、棚卸し作業などに多くの時間を必要としていたが、RFIDの導入により作業時間が飛躍的に削減されている。

資材配送でも、顧客が納品時期を予測しやすくするために配送過程の情報送信システムを導入しており、受注から納品までの各段階で、最新技術を駆使した業務体制が敷かれている。

全国各地のお客様のニーズに応え、よりよい製品を安定供給します!
株式会社石甚 ISHIJIN CO.,LTD
ロシア〈アカ松・エゾ松〉製材
国内挽きトップメーカー
連絡先
〒933-0252 富山県射水市七美1丁目10-1
代表取締役社長 石灰功一
TEL0766-86-2900 FAX0766-86-3371
E-mail:office@ishijin.com http://www.ishijin.com

GEH GREEN ENERGY HOKURIKU
株式会社グリーンエネルギー北陸
株式会社グリーンマテリアル北陸
代表取締役会長 田邊嶽之
代表取締役社長 加治幸大
本社 〒934-0037 富山県射水市片口久々江674-1
TEL0766-86-5511 FAX0766-86-5514
E-mail（会社代表）info@geh.co.jp